グループホーム敬和苑

作成日：　令和　　2年　　1月　　24　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	看取りの勉強会を行う。	全職員が看取りできるように、スタッフ教育を行う。	みやま訪問看護さんに、看取りについて、勉強会をひらいて頂き、参加する。そして、職員の不安をとり除き、理解を深める。	12ヶ月
2	16	非常時、(災害)の備蓄は、母体である特養に整備されているが、災害が起こったら、ライフラインが途絶える。グループホーム単独で、1年サークルでの備蓄を行う。	災害が起こらないことを祈りつつ、もし、起きた場合を想定し、グループホームで、食料や、飲料水を1年分備蓄する。	1年以内に、災害が起こらなかった時は、断水や、停電等の時に、備蓄物を使用する。必ず、消費期限内に、有効活用する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。